

# プロポーザル評価基準書

## 1. 本書について

本書は、最も優れた提案をした提案者を選定するための方法を定めるものである。

## 2. 審査基準

### (1) 機能要件書評価点 (200 点)

ア 機能評価書に記入された各機能に対する対応により、それぞれ次の配点とおりに採点する。

項目	標準	代替案 (オプション・カスタマイズ)	対応不可
配点	2点	1点	0点

イ 採点後の得点の合計点について、次の算定式により機能要件書評価点を算出する (満点とは、すべて「標準」で対応した場合の総得点とする)。

$$\text{機能要件書評価点} = \text{評価点 200 点} \times \left( \frac{\text{機能要件書合計点}}{\text{満点}} \right)$$

ウ 上記算定式による計算の結果、小数点以下の端数が生じた場合は、小数点第1位を四捨五入するものとする。

### (2) 企画提案書及びプレゼンテーション評価点 (300 点)

ア 企画提案についてプレゼンテーションを実施し、提案評価点を採点する。

イ プレゼンテーション実施の結果、提案書の内容と著しく異なる事実が判明した場合は、失格又は減点とする。

$$\text{企画提案及びプレゼン評価点} = \text{評価点 300 点} \times \left( \frac{\text{審査評価点}}{\text{満点}} \right)$$

ウ 上記算定式による計算の結果、小数点以下の端数が生じた場合は、小数点第1位を四捨五入するものとする。

### (3) 価格評価点 (100 点)

ア 見積書に記載された見積金額 (稼働日から5年間の「システム導入に要する経費」及び「システム利用料」等の総額) について、次の算定式に基づいて価格評価点を採点する。(参加者が1社のみの場合は、60点とする。)

$$\text{価格評価点} = \text{最低提案価格者 100 点} \\ \text{次点以降} \quad \text{評価点 100 点} \times \frac{\text{全体最低提案額}}{\text{当該事業者提案額}}$$

イ 上記算定式による計算の結果、小数点以下の端数が生じた場合は、小数点第1位を四捨五入するものとする。

ウ 提案書の内容を確認した結果、見積金額について必要な調整を行うことがある。